

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

1

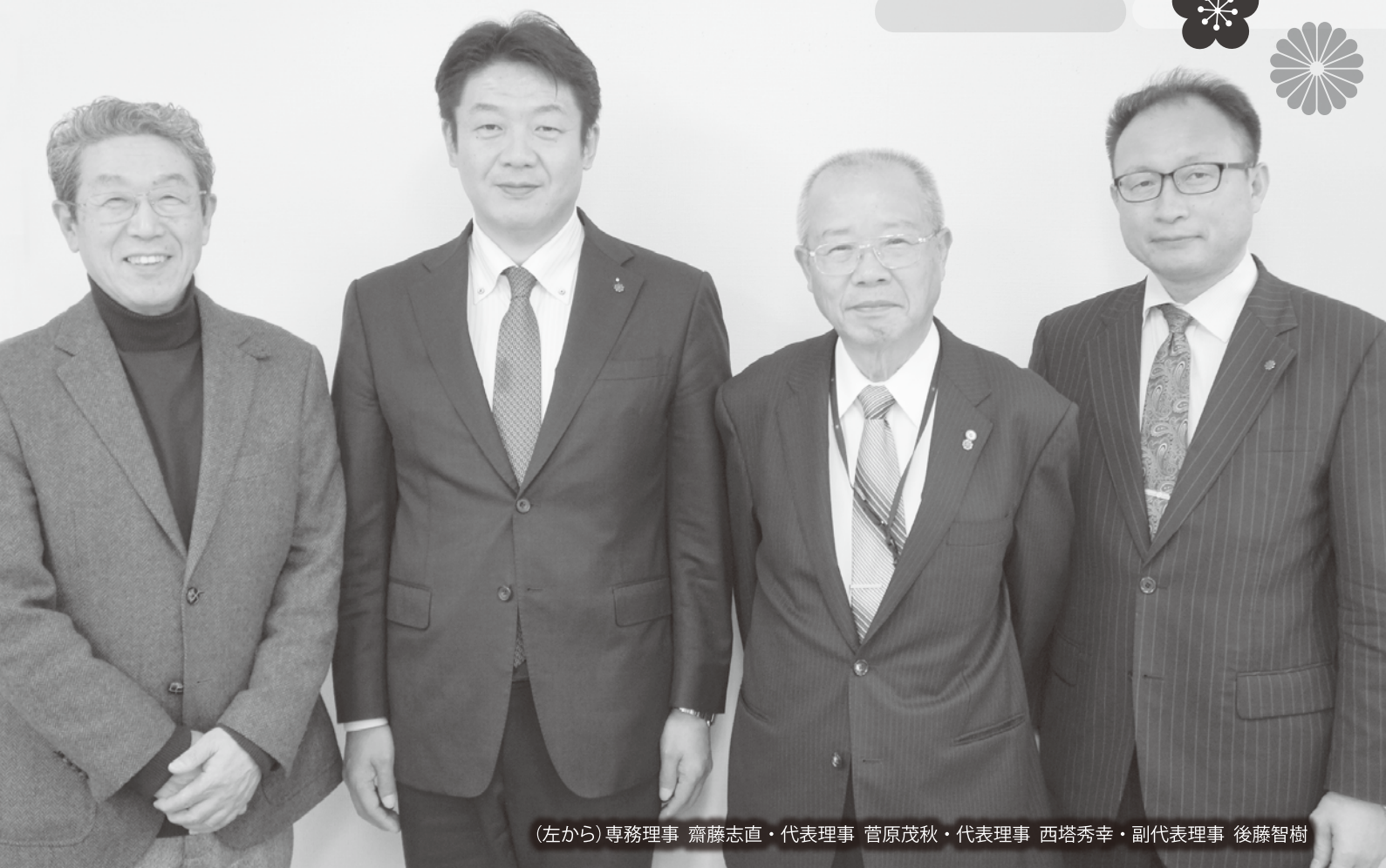
January
2019

山形県中小企業家同友会

月刊 同友

やまがた

謹賀新年



(左から) 専務理事 齋藤志直・代表理事 菅原茂秋・代表理事 西塔秀幸・副代表理事 後藤智樹



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす
中小企業経営者の全国組織

2018年度スローガン

「人を生かす経営」の総合実践で
地域と日本経済の発展に貢献しよう

2019年 新年のご挨拶

山形県中小企業家同友会
代表理事 菅原 茂秋



平成31年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は会員の皆様方より同友会運動への深いご理解と多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、昨年の世界経済は、トランプ米政権の政策の不確実性による貿易摩擦等のリスクは内包していたものの、成長基調で推移しました。

日本経済は、企業業績が堅調に推移し、設備投資と個人消費も緩やかな回復を序盤は続けておりましたが、天候不順や震災の影響により、インバウンド消費の伸び率は鈍化。生産は、はん用・生産用・業務用機械、電気機械を中心に緩やかな持ち直しの動きはあるものの、個人消費は、平成30年7月豪雨や台風などの影響を受け、弱い動きがみられ、不安を払拭しきれない状況にあり、今後の企業業績の改善が賃金上昇に反映され、個人消費の伸びにつながるかがポイントとなると思われます。

山形県経済も、山形県経済動向月例報告を見ますと「本県経済は、緩やかな回復の兆しがみられ、個人消費は、力強さには欠けるものの持ち直し傾向で、工業生産も増加傾向にあり、雇用情勢は着実に改善が進んでいる。」と記されていますが、実感がわかない方の方が多いのではないのでしょうか？そんな今だからこそ、中小企業家が力を結集して県内経済の担い手として取り組むことの重要性を認識することができるのではないのでしょうか。

山形同友会の昨年の運動を振り返り、一言で表すと同友会の立ち位置を大きく変化させた一年だったと感じております。一例としては、各支部・委員会の取り組みの充実が挙げられると思います。共同求人委員会では、宮城での全国総会で第5分科会を受け持ち、「同友会らしいインターンシップとは！？」というテーマで山形大学と連携で進めている低学年インターンシップの事例を報告し、地域に若者を残すことの重要性について全国に発信するとともに、12月にはその取り組みが、文部科学省が平成29年度に創設した「大学等におけるインターンシップ届出制度」における取り組みの中から学生の能力伸長に寄与するなど、高い教育的効果を発揮し、他の大学や企業に普及するのに相応しいモデルとなり得るインターンシップのグッドプラクティスとして、全国No1の最優秀賞を受賞することが出来ました。地域活性委員会では、山形市の依頼により、山形市の中小企業振興条例の制定に向けた会議を重ね、現在、パブリックコメントを載せる段階に入り、制定間近となっており、今後の中小企業の発展に大きく寄与することは間違いないと思われます。その他の委員会における活動も活性化しており、まさに同友会が理念とする三つの目的の実現に向けて着実に進化してきていると実感しております。

今年4月には、いよいよ山形同友会にも青年部会が設立される予定であり、若き経営者の学びと友情を深める場として、様々なプログラムも準備中ですのでご期待いただければと存じます。また、山形同友会の会勢も増加傾向にあり、中小企業家同友会全国協議会50周年の年に、我が山形同友会も5万名達成の一翼を担うべく、この一年全力を上げて奮闘しようではありませんか。

結びに、今年一年会員の皆様全員が健康で企業経営が発展し好業績をあげられ、地域社会が元気になることをご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

1月28日、新春交流会でお会いできることを楽しみにしています！



年男 今年の抱負

2019年、亥年の新たなスタートです。そこで、年男の会員さんより抱負を語っていただきました。



飯野 純一

(有)虎弘印刷所
取締役社長
山形支部

私たちは社員と共に感動を重ね、「創造・挑戦・進化」を念頭に邁進いたします。

取り巻く環境の変化に対応しながら、これからも顧客に寄り添った感動支援をさせていただきます。



加藤 安俊

(株)タイヤショップ出羽
代表取締役
山形支部

法人化とともに代表となり半年がたちました。少しずつではありますが、軌道に乗っています。

本年は社員一丸となり、「お客様第一」で頑張っています。



鏡 芳昭

(有)鏡豊店
代表取締役
寒河江支部

同友会で学んだことを基本に、自分のオリジナルを表現していきます。激変する時代をチャンスに変えて、独自の企業づくりに挑戦します。



板垣 一紀

(株)板垣水道
代表取締役
庄内支部

新年あけましておめでとうございます。

2019年は、会社を始め同友会におきましても、これまでの自分の殻を破って、何事にも感謝を忘れずに、一歩ずつ前に進んでいける「勇猛心」を持って、「猪突勇猛心」で取り組んでいきたいと思えます。人の痛みの分かる、やさしく強い人を目指します。どうぞ宜しくお願い致します。



中川 健

斎藤マシン工業(株)
代表取締役社長
山形支部

昨年、第23期経営指針をつくる会に参加させて頂き勉強をさせて頂きました。今年是指針の内容を会社経営に取り入れ会社にしても年男の自分にしても良い年にしたいです。

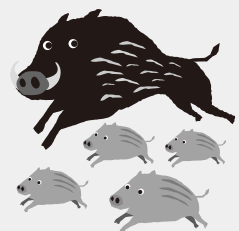
また、昨年趣味の草野球があまり出来なかったのが今年は何かに気を付け仲間と共に楽しみたいと思います。



北風 秀明

(株)アイディア
代表取締役
庄内支部

自分の性格はそのまま猪突勇進型。一心に真っ直ぐ走るつもりです。



未来に向けた企業づくりを考え合う



11月27日、「五輪明けにくるケタ違いの時代。あなたの未来の選択は？」をスローガンに第15回経営研究集会が開催されました。会場のホテルメトロポリタン山形には、総勢210名が集い、基調講演と二つの分科会で学び合いました。

来賓としては東北財務局山形財務事務所総務課長 廣田英土氏、山形市商工観光部長 山口範夫氏、上山市商工課長 鈴木英夫氏、山形県企業振興公社理事(兼)総務部長 伊藤文志氏、日本政策金融公庫山形支店中小企業事業総括課長 鈴木康弘氏、山形県信用保証協会常務理事 大沼善広氏、山形銀行本店第一部長 大山博史氏、荘内銀行取締役常務執行役員営業推進部長 松田正彦氏、きらやか銀行常務取締役 鈴木誠氏、きらやか銀行取締役本店営業部長 川村淳氏、山形信用金庫常務理事 長岡洋氏、鶴岡信用金庫専務理事 高木傑氏においでいただきました。

危機を乗り越えるため経営理念作成



ファインドスターグループ 代表
内藤真一郎氏

冒頭、主催者を代表して西塔代表理事が「同友会は経営者が研鑽を重ね、各方面から期待を寄せられる会となりました。本日もよい会社・よい経営者・よい経営環境をつくる契機となるように学び合ってくださいま

しょう」の挨拶を述べました。

基調講演では、ファインドスターグループ 代表 内藤真一郎氏が、「経営者人材と新規事業の創り方」と題して講演しました。内藤氏は、社員の大量離職による危機から経営理念

を作成。意思決定のプロセスの共有や当たり前のことを議論しながら理念を浸透させ、ベクトルを合わせてきました。そして、業績不振の会社の特徴として「プロジェクトや商品ごとのデータがない」「社員との関係性がない」「聞く力がなく社長だけが話している」「ナンバー2や3が社員サイドで語っている」と指摘。その上で、会社成長の原動力となった権限委譲による経験値を上げて成長させる経営者人材育成と、多数の事業開発の実践からマーケット創造の視点について語りました。

社員と共に歩む企業経営

第1分科会では、「組織づくり」をテーマに(株)サイコー 代表取締役 齋藤孝志氏より「社員と共に歩む企業経営」についてご報告して頂き、自社で掲げた経営理念・方針の具体的な実践の事例紹介は大変参考になりました。また、「個人として社員とどう向き合うのか」「社会と個人がどう向き合うのか」「地域の企業としてどう向き合うのか」という問いには深く考えさせられました。グループ討論では「社員を知っていますか？ 覚悟をもって向き合っていますか？」のテーマでコミュニケーション、信頼関係、面談の仕組み等様々な切り口で活発な討論が展開されました。まとめでは各グループとも具体的な実践宣言がなされ、良い気付きのある討論となりました。

変革と不変

第2分科会では、「事業承継」をテーマに(株)ナイガイ 代表取締役社長 米本泰氏より「『変革』と『不変』」についてご報告頂き、承継するにあたって変えてはいけないもの、変えていくべきものについて考え合いました。社会・業界の目まぐるしい変化に対して、自社のこれまで培ってきたノウハウ・技術・人・顧客を資産として上手く活用してその変化に対応していくことが大事になってくることを学びました。グループ討論では、何が変化してきているのか、それに対して各社の資産は何で、どう活用していくべきかについて気づきが得られました。

松岡実行委員長の挨拶で始まった懇親会では、参加者が交流を深め合いました。ゲストで参加された方々からは「課題をグループ討論で取り上げてもらえてよかった」という声も寄せられ、新たな仲間を迎える機会となりました。

第46回青年経営者全国交流会開催

チム

バンコク

シンリョウ

ユインチュ

肝高く万国津梁を担う結人たれ！ ～まくとうそーけー、なんくるないさ～



11月29日から30日にかけて第46回青年経営者全国交流会が、沖縄県那覇市で開かれました。スローガン「肝高く万国津梁を担う結人たれ！～まくとうそーけー、なんくるないさ～」のもと、全国から約1200名が集い、山形からは5名が参加しました。「企業づくりと青年部活動」「時代のリーダーへの期待」「事業承継」「変革と挑戦」などのカテゴリーで14の分科会と記念講演が行われました。

参加者より報告が届きましたので紹介いたします。

▶ 第46回青全交in沖縄に参加して

11月29、30日沖縄県那覇市で行われた青年経営者全国交流会に参加してきました。

私は第一分科会「青年部活動と企業経営は不離一体」に参加。パネラー4人とコーディネーター1人で短時間プレゼンの後、意見交換するパターンでした。

組織作りでは社員の主体性をどう引き出すか？自分づくりでは自分と向き合い本当に相手を信頼しているか？企業連携作りでは自社の強みと異業種の強みを使って新たな商品作り。未来づくりでは地域になくてもならない企業にしていくための社員との信頼関係構築が絶対必要である事。社員一人一人と向き合って理念とリンクした経営計画、指針、採用人事、利益計画も社員と一緒に作り上げている経営者達の経験談でした。

グループ討論は、同友会活動(様々な委員会も含む)を通じて会社がどう変わったか？明日からどう実践しますか？という議題でした。

自分達のグループの中では理念や計画、方針、数値は自分ひとりで作るのではなく、もっと社員に参画させて経営計画、数値計画を再度見直し先送りしない、今の自分ともっと向き合って(今のまま自分で良いのかを)社員との信頼関係を深め、仕事の意味を理解してもらい任せて(任せられないのは任せられない教え方をしているから)社員と共に未来、向けて自社がどうなりたいか？どうありたいか？を社長と

(株)ベーカリー中村屋 代表取締役 志田 清志

して考える良い時間となりました。

失敗しない経営者はいません！ずっと成功している経営者もいません！

その業界で1番最初に実践する大切さや数字に強くなる事は宮崎顧問のお話でしたし、基調講演では引きこもりからVR(バーチャリアリティ)の機材の開発を世界規模で実践している若い女性の方の講演など。世界は思っているより先に進んでいます。乗り遅れる前に次の手を打たないと取り残されます。

同友会の全国大会に来ると様々な方が居られ自分が置いてかれている気さえます、ぜひ皆さんで全国大会へ一度(何回でも可)でも良いから参加致しましょう！学んで実践！これが本当に素晴らしい同友会という会です。一緒に山形から参加された方々にも感謝いたします。



▶ 沖縄青全交に参加して

(株)ティスコ運輸 代表取締役 菅原茂秋



11月29、30日で沖縄青全交に参加してまいりました。両日とも天候にも恵まれ、亜熱帯気候ということもあり山形との気温差は20度近くあり気温25度以上。冬用のスーツでは汗ばむような状況でした。それに加え若手経営者の熱心なディスカッションに触れ、ますますヒートアップした第一分科会でした。

第一分科会では青年経営者4人によるパネルディスカッションと各社の体験報告があり、同友会での学びが基礎となり社員と共に業績を向上させるとともに新たな価値創造に4人とも様々な視点で取り組み、結果を出している話でした。当初は幽霊会員であったパネラーも青年部活動との出会

いで、同じ思いや悩みを共有しながら、共に学びや気付きを得て実践してきたことが結果に繋がってきているのだなと感じました。現在、山形同友会でも青年部の立ち上げ準備中ですがこの分科会に参加し必要性を痛感したところです。

翌日は、分科会報告に始まり中協顧問の宮崎会長のお話があり、同友会はまさに今、時代のど真ん中に来ており経営と同じく順調である時ほど危険が潜んでいるという問題提起をいただきました。

記念講演では、大学研究からの最先端技術の応用による商品開発や発売するための起業のための準備、新商品発売までのプロセスを徹底的に研究している、若き女性研究者でもあり、経営者でもある方のお話でした。最先端の技術の凄さに驚かされるとともに、今後の我々の経営においても必要な開発から販売までのプロセスマネージメントを学ぶことが出来た実り多き二日間でした。

▶ 第46回青年経営者全国交流会in沖縄に参加して

寒河江物流(株) 代表取締役 後藤智樹

数年ぶりの沖縄なのに観光一切なし、ですが大変充実した2日間でした。先ず初日は、業績向上は社員と共に～雰囲気づくりと仕組みづくりが企業を成長させる～の第4分科会に参加しました。

同族企業において役員＝家族の雰囲気が社内に影響し、それが仕事内容やお客様へ伝染する。社内の雰囲気、つまり社員がいきいきと働くことができる社風が社員を主体的にさせる一因となり、それが業績につながってきたという報告でしたが、私も常日頃“気”を大切に思っているので共感できることが多い報告でした。グループ討論では、主体性がテーマでしたが、社員に主体性を求めているのに、時間と金を与えているのか、という意見もありました。

翌日の全体会では、(株)宮崎本店の宮崎会長が行った特別

報告の中で、大企業の期間利益主義と中小企業の未来投資型経営についての話と、他の会では鎧を着ていないと吹き飛ばされるけど、同友会は鎧を脱ぐところ、また、運営を語る場ではなく経営を語る会にしないといけないう話になるほどと思いました。

そして、今回何より良かったのが、山形では来年度に青年部を立ち上げるため準備をしているところですが、今回参加した5人がその意義と各自の役割を確認できたことです。来年は熊本開催です。みんなで参加しましょう。



次回全国行事のお知らせ

第49回中小企業問題全国研究集会 in 長崎

時代の大転換期に立ち向かう覚悟と実践「人を生かす経営」を広げ、地域再生を

2019年 **2月21日(木)・22日(金)**

参加費

23,000円
(宿泊・交通費別)

会場

- ホテルニュー長崎(第1分科会・懇親会・2日目 全体会)
- ルークプラザホテル(第2～5分科会)
- サンプリエール(第6～8分科会)
- ザ・ホテル長崎BWプレミアコレクション(第9～12分科会)

申込締切 2019年2月1日(金)

スケジュール

1日目:2月21日(木)

12:00 受付開始
13:00 分科会開始
18:00 分科会終了
移動

19:00 懇親会開始
20:45 懇親会終了

2日目:2月22日(金)

9:00 全体会開始
[被爆地の市長として-peace from Nagasaki-]
長崎市長 田上富久氏
記念講演「夢持ち続け日々精進」
(株)A and Live 代表取締役 高田明氏

12:00 閉会

参加申し込み、お問い合わせは、山形同友会事務局までご連絡ください。

2019年新春交流会

「働きたい!」と思われる企業づくりは社員の声を聞くことから始まる
～GCH(企業内総幸福)の追求で社員がその気に～

2019年 **1月28日** 月 受付/14:30
開会/15:00
15時00分～20時30分

講師:日鐵鋼業(株) の と しん いち
代表取締役 **能登伸一氏**
(広島県中小企業家同友会副代表理事)

第1部 記念講演 15:00～16:40
グループ討論 16:50～18:45
第2部 懇親会 19:00～20:30

■設立:1971年 ■資本金:3千万円
■年商:14億6千万円 ■従業員数:42名(内パート6名)
■事業内容:鋼材卸、厚板ガス溶接レーザー切断、特殊鋼切断販売
<http://www.nittetu.jp>

会場 **ホテルメトロポリタン山形**
山形市香澄町1-1-1 ☎023-628-1111

参加費 第1部 **1,000円** 第2部(懇親会費) **6,000円**



2019年新春交流会
実行委員長

大久保 徳朗

「働き方改革」という言葉、一般的
になってから早くも数年が経とうと
しております。私たち中小企業経営
者も現状に向き合い、取り組みを進
めなくてはいけないのではないで
しょうか。

今年より、有給取得の5日間の義務
化をはじめ、国としての取り組みは
加速するばかりです。しかしながら、

中小企業を取り巻く環境は非常に厳しいのが現状です。人手不
足が深刻化し、生産性の向上も厳しく、労働環境が改善できな
い状況や、売り手市場の中で、新卒採用が上手くいかないとい

う企業様も多くいらっしゃると思います。

今回の新春交流会では、二つの開催目的を持って皆様と学び
あいたいと思っております。

一つ目は、人材確保・定着が大きな課題となっている今、経営
者の責務として社員が成長し、幸せを実感できる企業づくりの
ポイントを学び合います。

二つ目は、多くの経営者に同友会がめざす「人を生かす経営」
を発信し、中小企業が輝く地域づくりに踏み出す機会とする。

経営者自身が他責するのではなく自責するところから。社員
の声を聞き、よりよい職場環境の実現へ向けて。自社の取り組
みに役立てる場となれば幸いです。多くの経営者の皆様に、是
非ご参加頂けますようお願い申し上げます。

1月例会・セミナーのご案内

山形支部

Y-biz(ワイビズ)始まる!
～Y-bizを活用して経営課題を解決～

2019.1.17(木) 18:30～20:00

場所:山形テルサ 研修室A
山形市双葉町1-2-3 ☎023-646-6677

講師:山形市売上増進支援センター Y-biz
プロジェクトマネージャー 尾上雄亮氏

山形支部では会員の皆さまの多様なニーズに応え、経営に役立つ同友会になる
ため様々な経営に関することをテーマとしたセミナーを開催します。

今年度第3回目となるセミナーでは、山形市の新たなサービスとして2019年1
月4日より相談業務がスタートする山形市売上増進支援センターY-bizよ
り プロジェクトマネージャー 尾上雄亮氏を迎え講演いただきます。“Y-biz”
とはどのような機関なのか、実際にどのような相談ができるのかなどについ
てご説明いたします。

講演と質疑応答のみでグループ討論はありません。どなたでも参加できます。
お問い合わせの上、お気軽にご参加いただけますようお願いいたします。

さくらんぼ支部

本業の中心で副業を叫ぶ

2019.1.22(火) 18:30～21:00

場所:まなびあテラス 講座室
東根市中央南1-7-3 ☎0237-53-0223

報告者:社会保険労務士法人ルート企画
代表社員 菊地仁士氏

お待たせしました。新年一発目の例会は、労使見解の間の入って独自の見解を語
る「労使見解」の最新版。今回は最近話題の「副業」についてお話いただけます。

今後、働き方改革の一環で、副業をする社員が多くなっていくことが予想されま
す。そもそも会社として副業って制限できるの?どんな決まりがあるの?副業の
パートを雇用したいけど誰でも雇っていいの?どこまで副業していいの?雇用保
険は?労災は?本業との関係性は?など案外知らないことがたくさんあるはず。労
働者と使用者の立場から副業のすべてを簡単に詳しく話していただきます。

本業ありきの副業。副業で本業に弊害が出ないようにしっかりと知識をつけ、
会社にとっても社員にとってもプラスになれるように勉強していきましょう。
ぜひお問い合わせの上ご参加ください。

第8回理事会報告

◆日時:2018年12月12日(水)午後3時~午後5時 ◆会場:山形県産業創造支援センター ◆議長:齋藤専務理事
◆出席者:(敬称略)川合、西塔、齋藤(志)、越前屋、阿部(和)、佐藤(啓)、玉津、赤塚、阿部(敦)、武内、志田、大久保、事務局 矢作、後藤、芳賀

■開会挨拶

西塔代表理事が、「年度末に向けて活動の総括、来年度について検討を始める時期になった。11月の経営研究集會を境に入会者が増え始めているが、3名の退会も出ている。ただ入会予定者が他にも増勢に向かっている。この流れを持続し1月の新春交流会に向け頑張りたい」と挨拶しました。

■報告事項

- 第15回経営研究集會
矢作事務局長が参加人数と、12月18日に実行委員会を開催し、1月理事会に「まとめ」と「収支報告書」を提案することを報告しました。
- 文部科学省インターンシップ表彰の件
佐藤(啓)理事より山形大学の低学年インターンシップが、文部科学省インターンシップ表彰最優秀賞を受賞し、12月10日の表彰式には山形大学の松坂准教授をはじめとする大学側と松岡共同求人副委員長が出席したことを報告しました。
- 山形市中小企業振興条例制定に向けた第1回意見交換会(11/20)
齋藤専務理事より11月20日に山形商工会議所など同友会も含め5団体が参加して意見交換会が行われ、今後意見をまとめた上で抜本的なヒアリングを行い、インターネット等を通じてパブリックコメントを募集し、1月下旬にもう一度意見交換会を開き、3月の議會を経て、4月1日施行をめざしていると報告しました。
- 第46回青年経営者全国交流会
志田理事が11月29日~30日に沖縄で開かれ、全国から1200名、山形から5名が参加し、自分たちより青全交で交流する若手経営者の方がしっかりと考え、間違いながらも前に進んでいるという印象を受けたと述べ、自分のおおよその立ち位置というものが解る全国大会には参加したほうが良いと報告しました。
- 各支部・委員会・部会よりの報告
月次報告書を基に報告がありました。
- 2018年度半期会計監査
矢作事務局長が、11月15日に奥山氏、半澤氏より半期の会計監査が行われたことを報告しました。
- 2018年度11月月次決算報告(矢作事務局長)

■承認事項(入・退会承認) 入会4名 退会3名 12/12現在405名

■討議事項

議題1:組織目標達成に向けて

西塔代表理事から中同協50周年記念バッジの説明があり、「増勢傾向だが年度目標とはまだ隔たりがあるので、意識的に『同友会運動の日、増強の日』をつくること、『会員増強の手引き』を確認し、新春交流会へゲストのお誘いすることを提案し、承認されました。

議題2:2019年新春交流会について

大久保理事が、開催要項、参加目標、予算案について提案し、承認されました。
・日時:2019年1月28日(月)15:00開会
・会場:ホテルメトロポリタン山形(山形市香澄町1-1-1 電話023-628-1111)
・参加費:1,000円 懇親会費:6,000円
・開催規模:150名
・講師:日鐵鋼業株式会社 代表取締役 能登伸一氏(広島同友会副代表理事)

・テーマ:「働きたい!」と思われる企業づくりは社員の声を聞くことから始まる~GCH(企業内総幸福)の追求で社員がその気に~
・参加目標

支 部	前年度		今年度		
	目標	参加数	目標	会員・社員	ゲスト
山 形	93	95	95	90	5
寒 河 江	16	13	15	14	1
さくらんぼ	14	14	15	14	1
置 賜	12	14	15	14	1
庄 内	10	3	5	4	1
新 庄 最 上	5	3	5	4	1
金 融 ・ 学 生		12			
合 計	150	154	150	140	10

第1次集約:12月27日40% 第2次集約:1月15日80% 最終集約:1月21日100%

議題3:アンケート調査の件

西塔代表理事よりアンケート内容と鏡文が提案され、e.doyuと郵送での回答を依頼することが承認されました。

議題4:第51回中同協総会参加目標(代議員数)確認の件

15名の参加目標が承認されました。

議題5:事務局に関する件

西塔代表理事が事務局賞与の支給について提案し、承認されました。

■その他

- 1)中期ビジョン進捗会議について

●日時:1月9日(水)18:00~ ●会場:同友会事務局

- 2)今後の予定

全国事務局長会議	12月13日(木)~14日(金)大阪
東北ブロック事務局研修会	12月17日(月)宮城
新春幹事会	1月11日(金)~12日(土)東京
中同協経営労働委員会	1月29日(火)~30日(水)東京
中同協共同求人委員会	1月29日(火)~30日(水)東京
中同協社員教育・共同求人合同委員会	1月30日(水)東京
中同協社員教育委員会	1月31日(木)東京
第49回中小企業問題全国研究集會	2月21日(木)~22日(金)長崎

※事務局引越しは1月29日

- 3)第9回理事会の日程について

●日時:1月16日(水)午後3時~午後5時

●会場:山形ビッグウィング

- 4)追加事項

赤塚理事から、女性部会の目的・方針を明確化する上での課題について報告がありました。

■閉会挨拶

川合相談役理事が「同友会の特性を生かした取り組みの成果が、インターンシップ表彰に表れており、山形県の経済にとっても大きな成果と思う。また経営研究集會の成果としては複数名の入会があった。新春交流会にゲスト参加を促していきましょう。互いに切磋琢磨し協力しなければ厳しい時代になっていると自覚し体験を共有し成長していければと思う」と述べました。

会員変更

●山形県食糧(株)

食品・農畜産事業部長 秋葉 剛氏

→流通販売部部長 吉田 信氏

山形支部



うづき しんすけ
◇ 卯月 慎介氏

(株)卯月製麺 取締役製造部長
乾麺製造販売
山形支部

いとう ゆうや
◇ 伊藤 裕也氏

(株)チャレンジドジャパン
就労支援センター ひゅーまにあ山形 センター長
障がい者への就労支援
山形支部

とうかいりん たけし
◇ 東海林 武氏

(株)セルヴァン 代表取締役
スポーツ施設管理・運営等
山形支部

ふくはら かずてる
◇ 福原 和輝氏

(株)食のカラーポレーション
代表取締役
飲食店・魚介類販売業・総菜業
新庄最上支部

同友やまがた1月号 (2019年1月1日発行/通巻310号)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583
URL:http://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp